

【提案A】 SVCIP

C: 中心概念 「古文書の救済」で「地方の活性化 & 地方の新しい雇用の提供」



- ◆ 「古文書の消滅」: 各地方の“宝”が日本国中で「消滅」
- ◆ 「技術者の不足」: 「補修の技術者」と「デジカメ撮影の技術者」
- ◆ 「高齢者・主婦・身障者」: 手先が器用な国民。(人選と新教育体制)
職人の養成と新予算と新規制により一億総活躍・世界貢献が可能



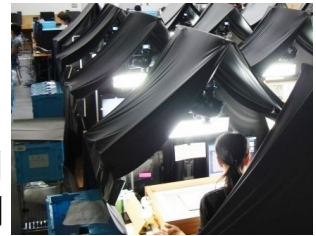
S: 状況 ※S 詳細

- ◆ 「古文書」: は「世界遺産」に相当、と海外学者方から高く評価されるが、「天災・人災」で「消滅・劣化・廃棄」。
- ◆ 廃棄: されると二度とその記録に辿り着けなくなり、取り返しがつかない、しかし消滅の一途。状況
- ◆ 働ける状況: 健康な状態でも「働かない・働けない」理由・「病院の待合室」が社交場と兼ねる。状況
- ◆ 技能の伝授: 既存企業が喜ばない。状況
- ◆ 世界中の仕事: 「安価・安全・安心」へ発注される。状況



V: 判断 (下記急務) ※V 詳細

- ◆ 「地域興しの基本」: に「古文書の救済」が不可欠である事が未周知。
- ◆ 10年後は不可能: [現場\(動画\)](#)・[詳細](#)
- ◆ 「急増する高齢者」: への「手に職」の「職」の養成。高齢者・主婦でも可。
[補修\(画\)](#)・[撮影\(画\)](#)・[\(動画\)](#)
- ◆ 「地方貢献・やりがい」を準備:
予算化と新コミュニティの場の設定。
- ◆ 【別案 B】 技能を[養成させる](#) 新体制
- ◆ 【別案 C】 [国内外から受注](#) 新体制



I: 具体案 (古文書の補修とデジカメ撮影)

- ◆ 予算: 450億円 (5年計画: 90億円×5年)
- ◆ 全国規模: 1都1道2府43県 各県知事等と協力。

P: 実行計画 ※I・P 詳細

- ◆ 2016年度中:
「古文書 救済会」を各県 官民協力して設置して実現。